

研究活動報告

『筑波大学 先史学・考古学研究』第31号発刊

考古学実習（茨城県土浦市・王塚古墳）

滝沢 誠, 前田 修, 荒井啓汰, 小屋亮太, 鷹野あきこ（期間：2020年11月30日～12月12日）

先史学実習（茨城県つくば市・学内）

谷口陽子, 板橋 悠（期間：2021年2月15日～19日, 22日）

三宅 裕 「葬制からみる西アジア先土器新石器時代の社会—ハッサンケイフ・ホユック遺跡の事例から—」『世界と日本の考古学—オリブの林と赤い大地—』。「特集北西シリアの新石器時代—筑波大学の西アジア調査から—総論」『西アジア考古学』21。「『農耕牧畜の時代』の狩猟具—新石器時代の尖頭器をめぐって—」『西アジア考古学』21。「新石器時代のシンボリズム—ハッサンケイフ・ホユック遺跡出土資料を中心に—」『都市文明の本質—古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究2 研究成果報告2019年度』。「考古フォーカス トルコ、バットマン県、ハッサンケイフ・ホユック遺跡の発掘調査」『考古学研究』67(2)。「初期定住集落の姿を探る—トルコ、ハッサンケイフ・ホユック遺跡第6次調査（2019年）」『第27回西アジア発掘調査報告会発表要旨集』（共著）。「イラク国北部 Jarmo 遺跡およびトルコ国南東部 Hasankef 遺跡出土の石器材料黒曜石の化学組成と原産地推定」『都市文明の本質—古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究2 研究成果報告2019年度』197。

滝沢 誠 茨城県土浦市王塚古墳の発掘調査（平成31年度筑波大学社会連携プロジェクト「博学連携による地域文化財の再生と利活用」）。「古墳の立地と視認性—霞ヶ浦沿岸域の前期古墳をめぐって—」『世界と日本の考古学—オリブの林と赤い大地—』。「甲山古墳の研究—考察編—」『筑波大学先史学・考古学研究』31（共著）。「入西石塚古墳出土遺物整理報告書」坂戸市教育委員会（共著）。「安楽寿院南陵（近衛天皇陵）及び深草十二帝陵（深草北陵）の立入り観察」『日本考古学協会会報』No.200。「静岡・清水平野における古墳時代首長層の動向」『賤機山古墳と駿河の首長』静岡市立登呂博物館・富士山かくや姫ミュージアム（講演）。

谷口陽子 エジプト、大エジプト博物館合同保存修復プロジェクト（壁画）。トルコ、カッパドキア・聖シメオン教会保存修復事業。Cultural Identity and the Revival of Values After the Demolishment of Bamiyan's Buddhist Wall Paintings. *The Future of the Bamiyan Buddha Statues*, Springer。「(2) 茨城県指定有形文化財考古資料 考第31号 坪井上遺跡出土硬玉製大珠7点」『茨城の文化財』58。「カッパドキア遺跡におけるビザンティン壁画の技法材料とヴァンダリズム」『科研費新学術領域研究 都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究2 研究成果報告2019年度』。「破壊されたバーミヤーン遺跡の再生と文化的アイデンティティ」『世界と日本の考古学—オリブの林と赤い大地—』。Non-destructive technique for Sandstone diagnostics case study, Egypt, 2020 IMEKO TC-4 International Conference on Metrology for Archaeology and Cultural Heritage（口頭発表・共同）。「キジル壁画の技法と材料」『亀茲国の石窟寺院と説一切有部の仏教文化』（口頭発表）。「中央アジアの壁画の技法と材料」『第10回シルクロード研究会』（口頭発表）。「聖シメオン教会保存修復プロジェクト」『新学術科研オンライン研究会 カッパドキア聖シメオン教会の研究／Scientific studies on St. Simeon church, Cappadocia』（口頭発表）。「放射性炭素を用いた年代測定、彩色材料」『アフガニスタン仏頭に関する研究会／Seminar on Scientific Researches on Buddhist clay heads from Afghanistan』（口頭発表）。「世界遺産カッパドキア・聖シメオン教会における保存に向けた調査成果」『文化財保存修復学会第42回大会』（誌上発表・共著）。

前田 修 Profiling an Unlocated Source: Group 3d Obsidian in Prehistoric and Early Historic Near East. *Journal of Archaeological Science: Reports* 33（共著）。Hunter-Fisher-Gatherer River Transportation: Insights from Sourcing the Obsidian of Hasankef Höyük, a Pre-Pottery Neolithic A Village on the Upper Tigris (SE Turkey). *Quaternary International*, Published online（共著）。Early Neolithic Chipped Stone Worlds of Bestansur and Shimshara. *The Early Neolithic of the Eastern Fertile Crescent: Excavations at Bestansur and Shimshara, Iraqi Kurdistan*. CZAP

Reports Volume 2 (共著). 「石器の加熱処理にみる先史時代の技術運用—西アジア新石器時代の事例—」『世界と日本の考古学—オリーブの林と赤い大地—』. 「レヴァント地方における新石器化プロセスの多様性—黒曜石交易からの視点—」『西アジア考古学』21. 「初期農耕社会と気候変動のインパクト」『気候変動と古代西アジア—古気候から探る文化・文明の興亡—』(口頭発表).

板橋 悠 「同位体分析からみた家畜利用の可能性」『河姆渡と良渚 中国稲作文明の起源』. 「同位体生態学による長江下流域初期農耕民の生活と社会の研究—方法と展望—」『河姆渡と良渚 中国稲作文明の起源』(共著). 「分析試料の正しい取り扱いかた 考古資料」『ぶんせき』548. 「(2) 学際領域研究の動向」『日本考古学年報』72. 「西アジア新石器時代共同体における食料の利用と共有—テル・エル・ケルク, テル・カラメル遺跡出土人骨の同位体比分析—」『世界と日本の考古学—オリーブの林と赤い大地—』. 「初期定住集落の姿を探る—トルコ, ハッサンケイフ・ホユック遺跡第6次調査(2019年)」『西アジア発掘調査報告会発表要旨集』27(共著). Dietary diversity of Bronze-Iron Age populations of Kazakhstan quantitatively estimated through the compound-specific nitrogen analysis of amino acids. *Journal of Archaeological Science: Reports*, 33(共著). Variation in arsenolipid concentrations in seafood consumed in Japan. *Chemosphere*, 239(共著). 「【田口賞受賞講演】先史時代人骨の化合物レベル同位体分析により 古代文明以前の社会を探る」『日本有機地球化学会 若手・学生オンライン研究発表会 2020』(口頭発表). 「アナトリアにおける授乳習慣の変化の検討」『日本西アジア考古学会 第25回大会』(口頭発表). 「カザフスタン青銅器—鉄器時代遊牧民の食性の再検証—初期遊牧民は漁撈民・農耕民だったのか?—」『日本人類学会 第74回大会』(口頭発表).

村串まどか 「岐阜県船来山古墳群の副葬品ガラスに関する考察」『月刊考古学ジャーナル』737(共著). 「岐阜県内の古墳を対象とした出土ガラス玉の化学組成分析」『長崎県埋蔵文化財センター研究紀要』10(共著). 「[附編 久能向原古墳群出土の玉類の分析結果について]」『久能向原古墳群(古河市埋蔵文化財調査報告書第22集)』. 「福岡県沖ノ島祭祀遺跡出土ガラス製玉類の流通に関する考察」『日本文化財科学会 第37回大会』(口頭発表). 「化学組成からみた北方世界のガラス流通に関する研究」『日本文化財科学会 第37回大会』(ポスター発表). 「非破壊蛍光X線分析によるトンボ玉の材質調査」『日本地球化学会 第67回オンライン年会』(口頭発表).

宮内優子 「テル・エル・ケルク遺跡出土の合葬墓について」『世界と日本の考古学—オリーブの林と赤い大地—』. The Potential of SR micro CT in identification of NNL: Distinguishing between stillborn and newborn infants. *Antropoloji Bölümü Seminerleri* (口頭発表・共同).

ブライ・フリバル久保・ペトラ 研究課題: 「比較考古学からみた初期国家形成—葬送儀礼を中心に—」

石田温美 「初期定住集落の姿を探る—トルコ, ハッサンケイフ・ホユック遺跡第6次調査(2019年)」『第27回西アジア発掘調査報告会発表要旨集』(共著). 「西アジア先史時代の道具の用途を探る—石灰岩製粉具の使用痕研究—」『特定非営利活動法人メソポタミア考古学教育研究所共催西アジア考古学勉強会』(講演).

河嶋優輝 「万瀬遺跡(本発掘調査B)」『年報』令和元年度(共著). 「愛知県の古代寺院における造営尺度の推定」『研究紀要』21. 「礎石建物—古代寺院を中心に—」『令和2年度連続歴史講座 建物の考古学 第三回』(口頭発表).

荒井啓汰 「常総地域の箱式石棺からみた古墳時代後半期の埋葬行為」『考古学研究』67(3). 「美浦村光佛古墳の再検討—常総地域における—石棺内複数埋葬の初現を見据えて—」『土曜考古』42. 「つくば市甲山古墳の研究—考察編—」『筑波大学先史学・考古学研究』31(共著). 「稲敷市酒井古墳の測量調査」『茨城県考古学協会誌』32(共著). 「栃木市片岡山1号墳測量調査報告」『栃木県考古学会誌』41(共著). 「関東地方中央部における横穴式石室の様相—久能向原古墳群を中心に—」『久能向原古墳群』. 「古墳時代後期常総地域における—石棺内複数埋葬の初現」『土曜考古学研究会 2020年2月例会』(口頭発表). 「函南町瓢箪山古墳の発掘調査」『令和2年遺跡調査報告会ふじのくにの原像をさぐる』(口頭発表).

大沼 柊平 「アルメニア・アラガツ山南西麓地域のカイトサイト群に関する—考察」『筑波大学先史学・考古学研究』31.

大村 陸 静岡県, 古墳時代の石材加工技術と石棺石材の産地推定分析調査(令和二年度伊豆半島ジオパーク学術研究助成「古墳時代における静岡山地を中心とした凝灰岩利用の解明」). 「伊豆凝灰岩製家形石棺からみた古墳時代の石材加工技術」『筑波大学先史学・考古学研究』31. 「稲敷市酒井古墳の測量調査」『茨

城県考古学協会誌』32（共著）。「石棺加工痕の三次元形状分析による製作技術の検討—駿河・伊豆地域の家形石棺を対象として—」『日本考古学協会 第86回総会』（誌上発表）。「〈大学所蔵資料の公開〉3Dアーカイブの取り組みを通して」『考古学・文化財のためのデータサイエンス・サロン online #02』（口頭発表）。

小屋亮太 「土浦市東城寺跡出土軒丸瓦について」『土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報』26（共著）。

鷹野あきこ 研究課題：「祭祀具からみた弥生時代の西日本社会」

令和2年度卒業論文・修士論文一覧

卒業論文

- 浅野 孝利 「古墳時代後半期の石材流通とその背景―常総地域における古墳埋葬施設の石材を中心に―」
井田 深月 「縄文時代における「水場遺構」の機能に関する研究」
上田 浩将 「先土器新石器時代におけるギョベクリ・テペ遺跡の「特別な構造物」に関する一考察」
高橋葉月音 「弥生・古墳時代の琴―形態と役割について―」
舟木 七星 「弥生時代における鎌の用途に関する検討」
本城 歩 「尾張藩上屋敷跡遺跡にみる近世江戸の鳥類利用」

修士論文

- 大沼 柊平 「南コーカサス地域におけるカイトサイト群の様相と性格」
大村 陸 「古墳時代後期における石材加工技術の研究―伊豆地域を中心として―」